

結の故郷中学生みこしダンスパフォーマンスについて

大野市教育委員会事務局

【提案】

令和2年度からは、中学生みこしダンスパフォーマンスは実施しない。

【提案理由】

①暑さ対策に限界がある

今年度も猛暑が続いたため、時間帯や会場を変えるなどできる限りの暑さ対策を行ったが、まだまだ課題が多かった。

生徒のアンケートには、「暑かった」「みこしが重くつらかった」等の感想が多く、保護者のアンケートでも、「子どもが倒れないか心配だった」「かわいそうで涙が出た」と子どもを心配する声が多く挙げられた。

教員のアンケートでは、「暑さにより、練習時間を十分に確保できなかった」「3年間練習を積み重ねることのできる学校（上庄・尚徳・和泉）と1年だけで十分に練習できない学校の差が大きくなっている」「上手に踊れない子どもたちはかわいそうだった」等の意見がある一方で、「せっかく練習したのに1回のダンス披露ではさみしい」という意見もあった。また、みこしダンス部会では、「暑さ指数の予報が31℃を超えると中止すると聞いていた。生徒は頑張って練習してきたので、中止になった場合の説明が難しい。中止になる可能性が高い計画そのものに矛盾を感じる」という意見もあった。

今後、生徒の安全管理と教育的意義との両立は困難であると考えます。

②重点事業を魅力ある学校づくりに移行する

みこしダンスパフォーマンスをはじめとする「ふるさとを知り、ふるさとを創る学習」は、この10年間で、十分に役割を果たしてきた。今後、市全体としては、「確かな学力を育む学校づくり」と「安心して通える学校づくり」を二本柱とする児童生徒が楽しく通える「魅力ある学校づくり」を総合的に構築する。ふるさと学習についても、この構想の中で各学校ごとに地域と連携して進めていく。